

延応寺の大ケヤキ 簡易診断報告

調査者 宮田和男・鳥越 茂・安田邦夫
久世智恵子・谷川 亘・稲葉 広
田畑 基・池野祐季

はじめに

延応寺の大ケヤキの来歴

大ケヤキが存在する龍上山延応寺は、生野町口銀谷に所在する古義真言宗の名利。延応年間（西暦 1239～1240 年）、栃原の大火災の時に千手観音がこのケヤキの木に逃れたとの伝説がある。また、長遍上人が通りがかりにケヤキの梢に後光がさす千手観音を見つけ、この森に祀ったことから、この村を森垣村と名づけ、後に寺を建て延応寺と呼ぶことになったと伝えられているなど、延応寺とのかかわりが深い巨木（樹齢約 700 年以上とも推定）である。また今から約 150 年前の生野義拳のとき、倒幕方の志士たちが謀議を練った場所でもあることから、生野の歴史に深くかかわりを持つ。

大ケヤキの立地は当初、西側にある山の山腹斜面に自生していたものと思われる（写真 昭和初期の大ケヤキ）が、現在の観音堂との間に若干の谷があったと思われることから、「馬の背」状の細長い高まり上に立地していたものと推測される。

これまでの経過

【平成 26 年度以前】

観音堂が大正 7（1918）年～14（1925）年に建設され、昭和元（1926）年に建立完成した。この建設に伴い、立地環境の変化があった、自然の環境状態で生育していたところに大きな建築物の観音堂が建ち、西北に伸びていた根が相当損傷を受け、斜面で生活していた木が盛り土されて今の状態になった。観音堂建築時に使用されたコンクリートでケヤキ西側の根元に埋められ、今も残っている。

観音堂の建立に前後して、境内が整備され、東側に大きな石垣が構築されて境内が平坦な広場となり、ケヤキから見ると大きく盛り土されて、現在の景観になっている。

・昭和 48（1973）年及び 56（1981）年の豪雪により、幹が倒れる。（その残骸が鐘つき堂に残っています。）

・平成 17 年 根状菌糸束の DNA 鑑定でヤワナラタケ（ワタゲナラタケ）でナラタケの中でも病原力が弱いとされている。

・平成 18（2006）年までに大ケヤキ倒木を防ぐため、主幹中央部に向かって支柱を設置。また幹回りの樹勢回復事業を実施。

【平成 26 年度】

・平成 26 年 8 月 2 日、主幹の一部である枝が落下し損傷した。

・平成27年2月23日～3月6日、緊急保護事業を実施。

治療前にアーボソニックによる精密診断及び追加して根株心材腐朽の進行度合いを確かめるため、レジストグラフによる診断を実施した結果、幹内部についてはかなり広範囲に空洞化しており、物理的に非常に危険な状態であることが分かった。そこで、朝来市教育委員会文化財課 田畑 基氏から兵庫県みどりのヘリテージマネージャー会による簡易診断の依頼があり、下記日程で実施した。

記

日 時 平成27年7月25日(土) 午前9時30分～15時

診断内容 県天延応寺の大ケヤキ簡易診断と対策の検討

方 法 平成27年2月23日に実施した精密診断の結果をもとに診断(資料添付)。

結 果

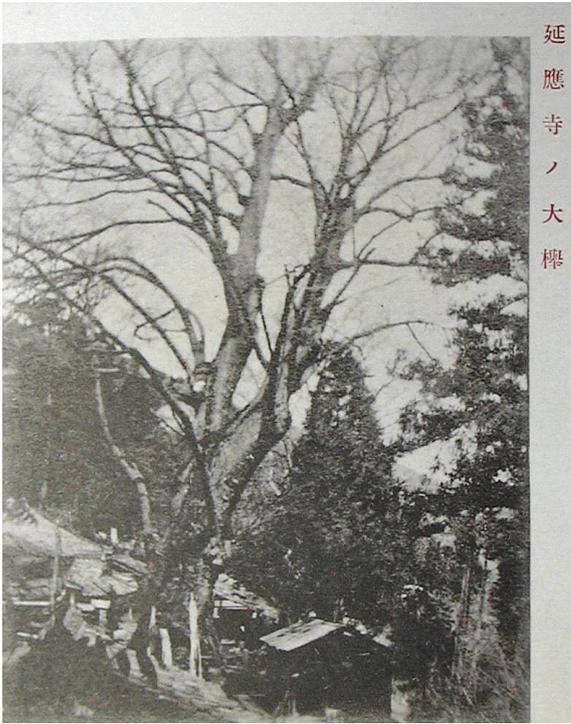
6名により検討し、アーボソニックで1.3m(腐朽率52%)と2.55m(腐朽率53%) レジストグラフ(PD-600)0.3m(空洞率63.8%)と1.3m(空洞率52.8%)であることから、内部に著しい腐朽等の障害を抱えており、危険と判断される空洞率50%を越えている。

樹幹が東側に傾いて生育しており、東側に既存の支柱があるがその支柱の横受けが湾曲しており、東側に荷重がかかっているおり、精密診断の資料等から、早急に支柱等の措置対策等を講じないと倒木に危険がある。

以下の事が緊急に必要と提言した。

- 1 支柱の増加5本(0.3m～2.5m精密診断の資料から東北側と南西側の腐朽が著しく＝ねじれが予想されるので南北方向にも支柱必要。)
- 2 山側(北)からのワイヤー等で引く、倒れ込む危険性を減らす。
- 3 樹幹及び枝回りにスリングベルトを設置し、固定する。
- 4 樹冠部の剪定を行い、樹幹にかかる荷重を極力軽減にする。

資料 写真



延
應
寺
ノ
大
樺

兵庫県史蹟名勝天然記念物調査報告書
大正 15 年 3 月 発行掲載



平成 27 年 7 月 25 日 調査検討作業中



平成 18 年 設置の 支柱



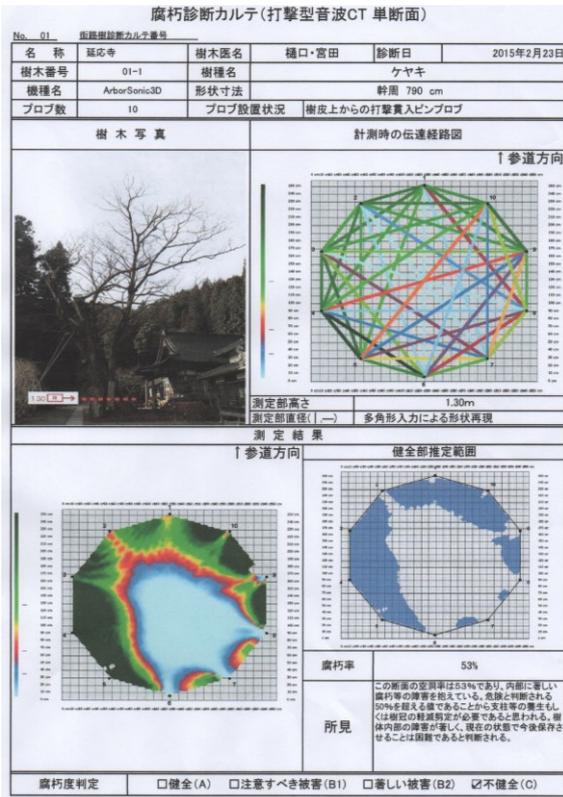
横鋼管が湾曲



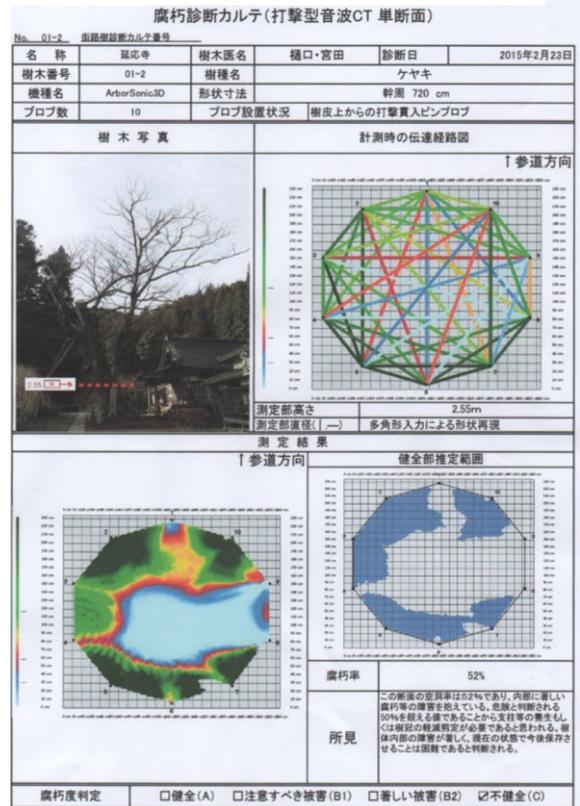
横鋼管が湾曲



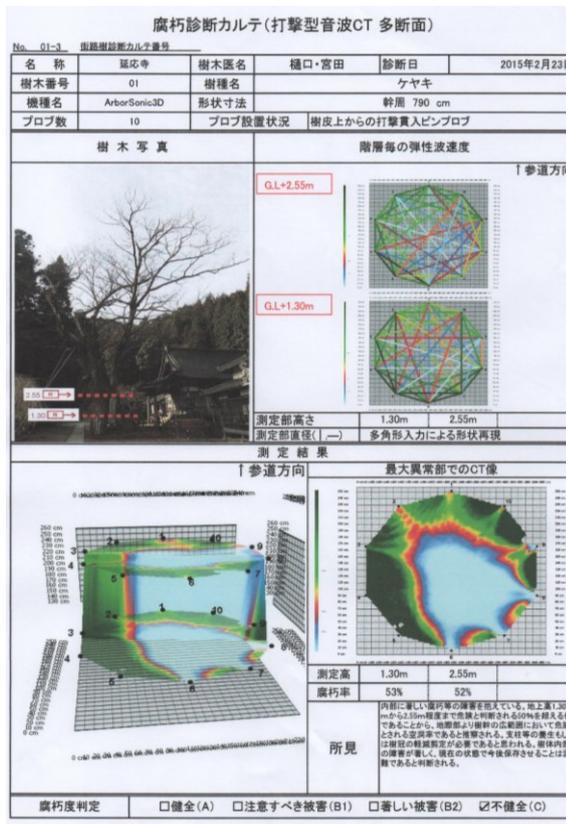
資料 精密診断内容



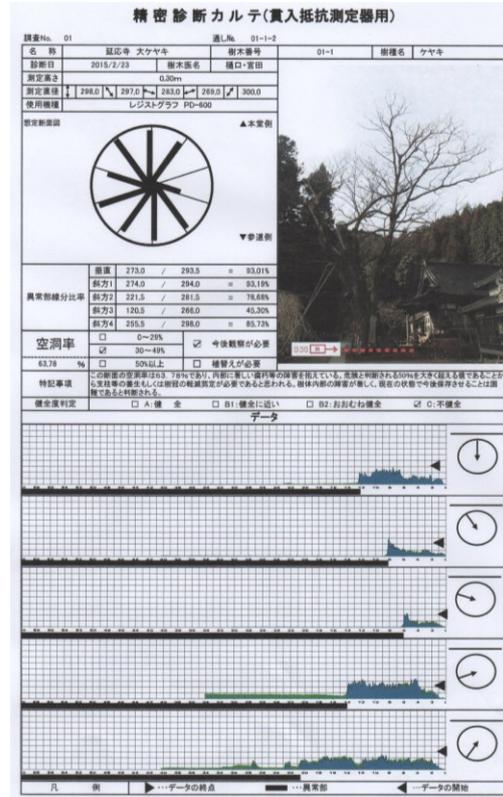
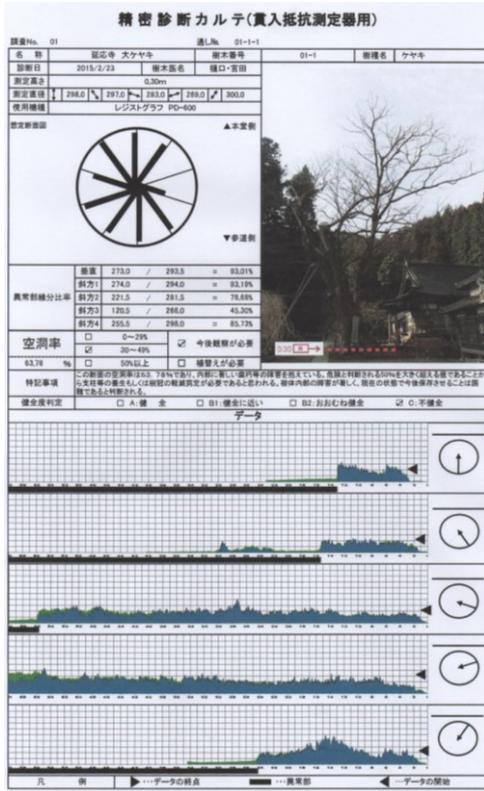
高さ 1. 3mの測定値



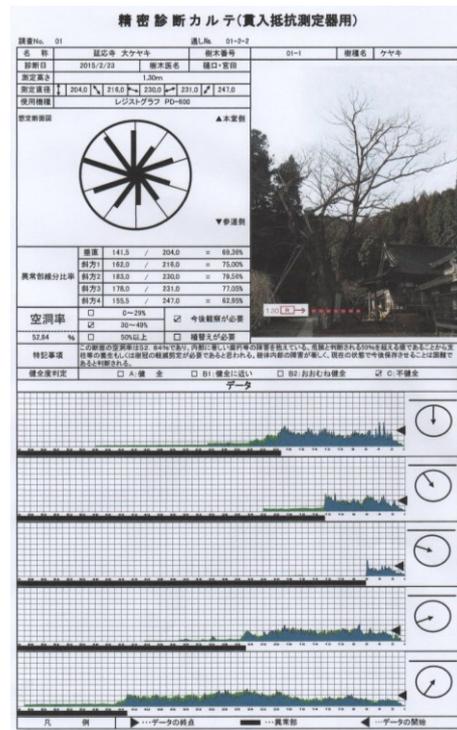
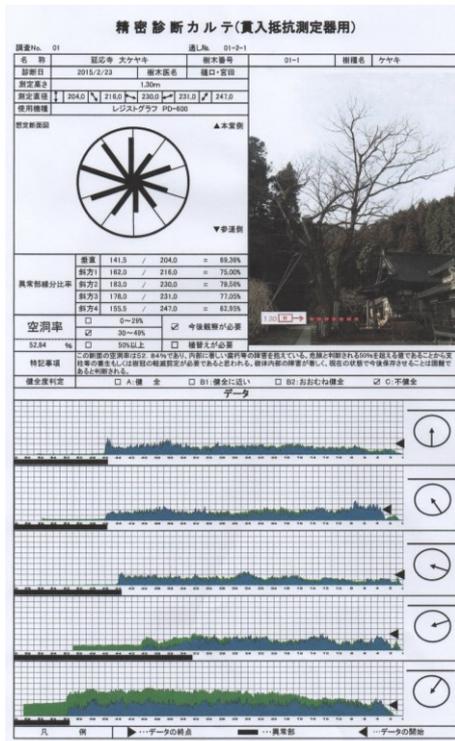
高さ 2. 55m測定値



高さ 1. 3mと 2. 55m



高さ0.3mの測定値



高さ1.3mの測定値